

復職支援研修における標準プログラム

病院名

コース	1日	5日	7日(看護師)	7日(助産師)
プログラム	講義・院内見学を主とする	技術・演習を主とする	病棟内の見学実習を主とする	産科外来・病棟における見学実習を主とする
	いずれ再就業したいと考えている方	再就業に向けて準備したいと考えている方	すぐにでも再就業したいと考えている方	すぐにでも再就業したいと考えている方

1 日目	AM	オリエンテーション・交流会・ナースバンク関係書類の記入・病院見学等		
	PM	講義：最近の医療・看護の動向、医療安全体制、感染管理等 再就業支援相談		
2 日目	AM	研修内容<事例を設定し指示に基づく実施> 1 採血 2 輸液・静脈注射 (1) 薬剤処方箋・指示の確認 (2) 準備 (3) 本人確認 (4) 刺入部位の確認 (5) 刺入：駆血帯の扱い、刺入角度 (6) 針とルートの固定 (7) 滴下数合わせ (8) 輸液ポンプの取扱いなど		指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置
	PM		2 準備 (1) 腕モデル(静脈・採血、筋注用等) (2) 椅子、注射台及びベッド (3) 輸液ポンプ (4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 (5) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備	
3 日目	AM	3 筋肉・皮下・皮内注射	4 体位変換と移乗 (1) 体位変換、上方移動、水平移動 (2) 車いすへの移乗 (3) ストレッチャーへの移動	3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで
	PM	4 薬の知識 与薬方法、薬剤の確認方法や、インシデントに繋がる事例など	5 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。 質問を受ける、実践指導等	4 所要時間 1名20分から40分 1つの項目全体で2時間程度
4 日目	AM	6 看護観察 フィジカルアセスメント		5 講義やDVD視聴
	PM	外来見学、病棟実習 1 外来、病棟オリエンテーション (1) 構造、特徴 (2) スタッフ紹介 (3) 診療科、患者紹介		【助産師コース】 講義 1 主な疾患と看護 産科外来見学・病棟実習 1 オリエンテーション (1) 構造、連携、医療機器等 (2) スタッフの紹介 (3) 妊婦健診の流れ (4) 保健指導 2 援助の実際 (1) 産婦ケア 間接介助の見学 分娩監視装置の装着と判読 第1期～第4期までの看護 (2) 褥婦ケア(乳房ケア) (3) 新生児ケア 出生時・入院時・退院時 3 カンファレンス参加
5 日目	AM	2 援助の実際 (1) 環境整備・リネン (2) VS測定、体位変換、移乗・移送 (3) 清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) (4) 食事の援助、排泄の介助		指導体制・方法 1 病棟師長もしくは研修担当者がオリエンテーション実施 2 指導看護師に付いて一緒に援助を行う 3 侵襲を伴う処置は見学 *1名の研修生に1名の指導者を配置 *援助の際は、必ず患者に了承を得る *病院所属の看護師の指導のもとで行う
	PM	3 カンファレンス参加 カンファレンス終了後も時間があれば病棟実習		1 助産師に付いて一緒に援助、又は見学を行う 2 分娩があれば適宜見学を行う 3 侵襲を伴う処置は見学 *1名の研修生に1名の指導者を配置 *援助の際は必ず患者に了承を取る *病院所属の助産師の指導のもとで行う
6 日目	AM		交流会	
	PM		再就業支援相談	
7 日目	AM	病棟実習	指導体制・方法は 上記に準ずる	病棟実習 指導体制は上記に準ずる 実習の振り返り
	PM		交流会	合同で交流会 再就業支援相談